

## 豊高ギャラリー (14)

平成28年10月11日 (火)

豊高の中庭の木々も少し色づき始め、秋も徐々に長けて来ました。それではお待たせしました、豊高ギャラリー (14回目) をご紹介します。芸術コース美術選択者は、今年度から第2美術室 (デッサンや油絵に使う部屋) での制作が始まりましたが、その成果をご覧ください。

### 静物デッサン

【生徒】泣きながら描きました。質感を出すのが大変でした。ガラスの表現にてこずりなかなか完成できませんでした。手を入れなければならない所はきちんと手を入れ、そこまで重要でない所はある程度手を抜くというという、技術を身に付けられるように努力していきます。

【講評】初めて描いた多様な素材のデッサンです。細部まで追っていく集中力があり、空気感を感じさせる描写が素晴らしいです。今後、絵画全体を大きく捉える見方や描写方法を学ぶことが、自分の殻を破り絵画としての強い構成を獲得するために必要なことです。



### 静物デッサン



【生徒】紙の中にバランスよく物体を収めるのが大変で、何度か描き直しました。時間がかかってしまい、中途半端な作品になってしまいました。次に描くときは、全体的に手が入るようにしていきたいです。(デッサンは) 根気がある作業だと思いました。

【講評】初めて描いた多様な素材のデッサンです。明暗の幅が大きく、エッジの立った綿密なタッチは今後も大切にしてほしい部分です。この作品の次に制作している油絵では、画面全体を捉えようとする姿勢が見られます。

## Sunflower



【生徒】夏っぽいものを描いてみました。

【講評】印象的なモノクロの画面ですが、ヒマワリの中心部に時間をかけすぎ、他の描写に手が回らなかったのが残念です。計画的に制作を進めることができれば、さらに良い作品になったでしょう。



### 夕焼けに帰る迷子と鯨

【生徒】背景のクラデーションを頑張りました。

【講評】題材も描写も現実にはあり得ない組み合わせですが、デッサンを見捨てず伸ばした左足とグレーの直線の交差が、画面下部を構成し、背景の鯨の青に赤が映え不思議な魅力のある絵になっています。形のバランス上、左上の処理が課題です。

## カエデ



【生徒】葉のバランスが難しかったです。

【講評】秋らしい色使いですが、足元の明度を上げて描写したことにより、浮遊感のある明るい絵になりました。

## 炎上する木は死してもなお美しい



【生徒】人形らしさを出すために目を特徴的に描きました。

【講評】黄・青・緑・赤の大胆な色面構成の中に散らされた赤い花がそれぞれの色面を繋ぐ働きをしています。また細かい筆遣いの背景が画面に密度を与えています。